

一生で一番暑い夏

佐藤 真人

始めは慣れない環境のせいで長く感じた3週間もあっという間に過ぎ去っていきました。トールランスでの経験はほとんどが初体験だったためどれも新鮮で、貴重で、忘れがたいものばかりでした。今では、朝、目が覚めたらここがホストファミリーの家であってほしいと願ってしまうほどトールランスが恋しくなっています。



アメリカの人々は私が思っていた以上にオープンで、誰に対しても親切でした。トールランス生やTSCAの方々、ホストファミリーのみなさんがとてもフレンドリーに接してくれたおかげで、すぐにうち解けられました。なかでも2軒目のホスト先のスティーブさんはとても気さくな方で、レストランに行くたびに「え？友達？」とってしまうくらい店員さんに冗談を言って笑わせていました。彼にとってはこれも挨拶の一環なのだろうと思いました。しかし、車に乗るときには、奥さんのステファニーさんのためにドアを開けてあげたりして、紳士的な一面も見られました。日本ではほとんど見られない光景で、とても驚きました。

また、アメリカには夏休みに定期的に学校へ勉強しに行くサマースクールというものがあることや、部活動の練習が行われることが少ないこと、食事をするときのマナーなど、日本と異なっている点が多くありました。日本とアメリカのどっちが良くてどっちが悪いという判断はつけられないけれど、とても興味深く、教育方針の大きな違いを感じることが出来ました。

この3週間で多くのものに触れ、あたらしい価値観や考え方につなげられるような経験ができ、改めてこの派遣プログラムに参加してよかったと思います。このプログラムを支えてくださったすべての人に感謝します。ありがとうございました。